

2017年第2回日本ゴルフサミット会議議事要約

開催日時：2017年7月28日（金）14時～16時

開催場所：TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター 4R

出席者：（敬称略・団体名略称）

竹田 恆正（議長）、永田 圭司（JGA）、遠藤 美香（GGG）、手塚 寛（NGK）、三野 哲治（JPGS） 横山 雅也（JGRA）
馬場 宏之（JGGA）、蛇草 真人（GTPA）、井上 建夫（PGA）、秋元 恒朝（JGTO）、寺沢 範美（LPGA）
小宮山 義孝（ゴ連協）、高橋 正孝（TOJ）、津々木 秀司（JGMD）、今和泉 久生（JGIA）、川田 太三（GCA）、
片山 哲郎（JGJA）、田村 和男（支配人会連合会）

議事

竹田議長より、東京五輪への期待感が高まっている。又、ゴルフ人口が28%減少しているとの「レジャー白書2017」が発表され、ゴルフ活性化のための活動が喫緊の課題との挨拶があった。

引き続き、新代表者となった方々より、挨拶が行われた。

1. 【審議事項】

第1号議案 「日本ゴルフサミット会議会則」、「運営内規」改定について

本会がゴルフ普及活動等においてゴルフ界全体を牽引することへの要望は益々高まっていると考えられるため、この期待に応えるためにも、参画団体が積極的に結合するとともに機動的な活動が出来るよう改定する。

第2号議案 「日本ゴルフサミット会議ホームページ」改定について

活動テーマである「ゴルフのイメージアップ」に資するため、「日本ゴルフサミット会議ホームページ」を改定し、国民全てにゴルフの魅力や効用を理解して頂くためにゴルフに関する学術的研究成果やゴルフ界の社会貢献等を掲載し、アクセス数の増加を目指すとの方針が承認された。

第3号議案 イメージアップ施策について

運営会議にプロジェクトチームを編成して抜本的なイメージアップ施策についての検討を行った結果、マスメディアを利用した一時的広告宣伝は恒常的な効果が望めないことや多額の費用が発生するため、現状進めているホームページの改定を着実に実行し、各団体が最新の情報提供を行い、ゴルフ未実施層からのアクセスが増加するように内容を整え、各団体及びその加盟企業等に「日本ゴルフサミット会議ホームページ」にリンクをしてもらえるように依頼活動を行うとの結論に達したことを報告した。審議の結果、上記の運営会議案を承認した。

2. 【報告事項】

(1) 大学ゴルフ授業の充実を目指した産学連携活動の報告

北 徹朗 武蔵野美術大学准教授（大学ゴルフ授業研究会代表・全国大学体育連合常務理事）より、大学ゴルフ授業充実に向けた産学連携事業の1年間の成果報告及び今後の展開について発表が行われた。また、本連携を契機とした産学官の協力による地域活性化構想案も披露された。

(2) 「選手強化」策についてのJGAからの報告と要請

塩田 良 日本ゴルフ協会理事より、選手の育成・強化施策及びその財源としての寄附金募集について説明が行われた。また、本件への各団体の関与について委員会及びワーキンググループ設置の提案があった。質疑が行われ、8月中を目途に取りまとめることとした。

(3) 「ゴルフ場利用税廃止運動推進本部」報告

小宮山 義孝 ゴルフ場利用税廃止運動推進本部長（ゴ連協会長）より、ゴルフ場利用税廃止に向けた超党派ゴルフ議員連盟・自由民主党ゴルフ振興議員連盟の決議（ゴルフ場利用税廃止後の市町村財源補填の寄附金制度・ふるさと納税の活用）が報告された。

(4) サミット参画団体間の連携施策について・・・スポーツ庁長官杯

塩田 良 日本ゴルフ協会理事より、8月に実施される表題協議について説明が行われた。

(5) 「2018年ジャパンゴルフフェア」について

馬場 宏之 日本ゴルフ用品協会会長より、本年度の開催結果報告（入場者増等）及び次年度開催に向けた構想発表が行われ、各団体にゴルフ普及の一手段として活用を検討頂きたい旨の要請があった。

3. その他 意見交換

*サミット会議として、ゴルフ市場データを独自に分析する必要があるのではとの意見が出された。

第3回日本ゴルフサミット会議開催日 平成29年11月22日（水）14時～16時

以上